

分野3：IT広報の実施

中期目標

インターネットを通じ、日本の外交政策に対する国の内外の理解を促進する。

過去3年度（令和4～6年度）の主な成果	課題及び今後の方向性
1 【IT 広報手段の強化、多様化による利用者のサービスの向上】 ● 外務省ホームページ（HP）の掲載体制を強化した他、HP内の不要ページ及び浮遊ページの整理を実施、ウェブアクセシビリティの改善に努めた。外務省SNS公式アカウントは、着実にフォロワー数の増加傾向を維持するとともに、在外公館の運用アカウント数も増加し、より多くの利用者への情報発信・提供に資した。 2 【IT 広報システムの強化】 ● 各種セキュリティ対策を講じ、日々進歩するサイバー攻撃等の脅威からシステムを守り、安定稼働に努めることができた。 3 【コンテンツの充実及び迅速な情報発信への取組】 ● 外務省HPトップページ等の構成を見直し重要な情報をより効果的に広報できるようにした。特に首脳・外相関連を含む重要情報は、HP及びSNSにて、迅速な掲載を実施し、国民・海外への迅速かつ正確な情報発信・提供に資した。	1 【IT 広報手段の強化、多様化による利用者のサービスの向上】 ● 重要な情報によりアクセスしやすくなるよう、HPリニューアルも見据えた検討・改善を行い、より効果的な広報を目指す。SNSはオウンドメディアとして情報発信や世論形成の中心的役割を担っており、外交ツールとしても不可欠のメディアであることから、SNS発信の重要性は今後も確実に増していくため、引き続きSNSの効果的な運用に努めるとともに、在外公館担当へのスキル向上支援やノウハウの共有、グッドプラクティスの紹介・横展開等を通じた側面支援を継続する。 2 【IT 広報システムの強化】 ● 世界規模でのサイバー攻撃が多発・高度化している中、リスク管理としてのIT広報システムの基盤強化は課題である。令和2年に稼働を開始した刷新システムは令和7年度から延長フェーズに入るところ、引き続きシステムの安定的な稼働及び日々のセキュリティ対策を講じ、セキュリティ水準を維持することを目指す。 3 【コンテンツの充実及び迅速な情報発信への取組】 ● 外務省HP、在外公館HP及び外務省公式SNS、在外公館SNSを活用し、日本の外交政策及び魅力を積極的にかつ効果的に発信する。その際、外部のリソースも活用し、戦略と戦術をもった効果的な対外発信を行っていく。

【参考】外交分野におけるSNSの重要性

- 本省及び在外公館において、Facebook及びXを中心に多様な媒体で発信中。

フォロワー数：約1,456万人

(令和7年4月時点。本省と在外公館の総計。)

【本省】

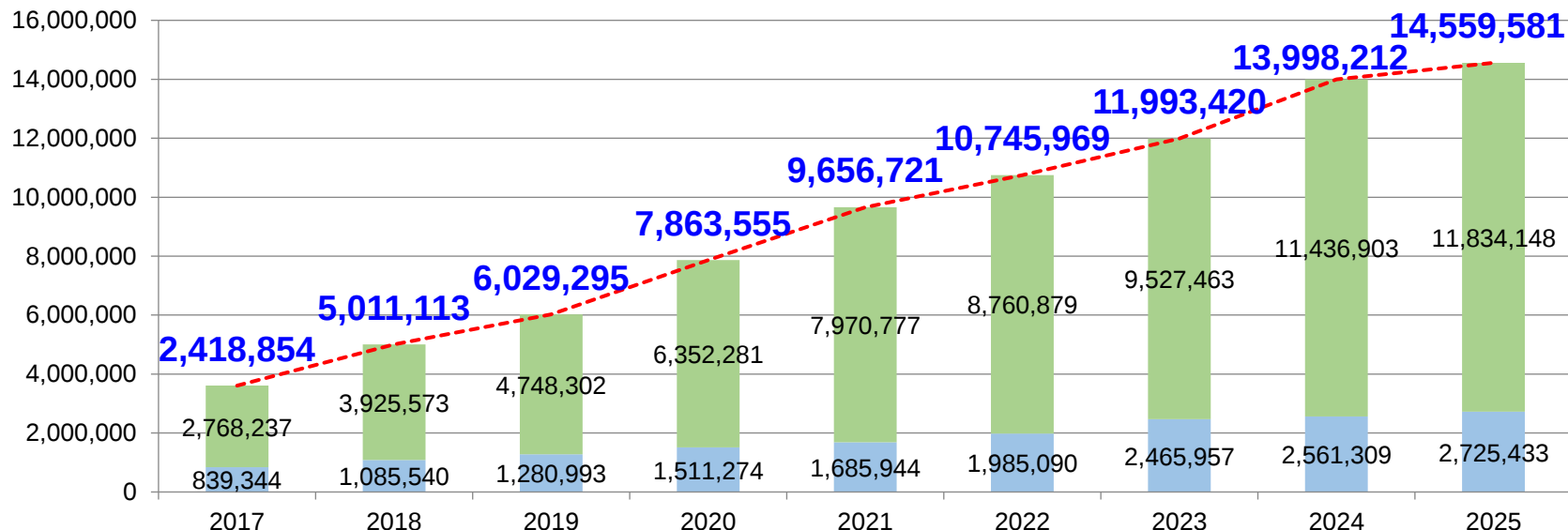
※戦略発信推進室において管理・運用しているアカウントは以下のとおり。
その他、本省各課室でも各種アカウントを運用。

	・外務省公式X（旧Twitter）（日英合計）	62.8 万人
	・外務省やわらかツイート（日）	32.5 万人
	・外務省公式Facebook（日英合計）	29.5 万人
	・YouTube外務省公式チャンネル	12.9 万人
	・外務省公式Instagram（日英合計） 2023年11月に開始	1.8万人

【在外公館】

・在外公館SNS フォロワー数合計 1,183万人
(計697アカウント運用中。 ※主なアカウントは以下のとおり)

X（旧Twitter）	(199 アカウント)
Facebook	(255 アカウント)
Instagram	(132 アカウント)
YouTube	(94 アカウント)
VKONTAKTE	(6 アカウント) ※ロシア版SNS
Weibo	(7 アカウント) ※中国版SNS



本省・在外公館SNSのフォロワー数の推移

※毎年4月の数字

■ 在外公館
■ 本省

- (主な取組)
- 外交青書
 [2023年](#)版
 [2024年](#)版
 [2025年](#)版 (PDF版 p.296)
 - 外務省HP ([日](#)・[英](#))

参考：外務省ホームページ等（注1）へのアクセス件数（ページビュー数）の合計			
（注1）日本語・英語、在外公館ホームページ	実績値		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	約4.6億件	約4.8億件	約5.2億件

（注）評価書を作成するに当たっては、外交青書、外務省ホームページ等を使用した。